

日時・場所	令和4年1月4日（火）9時15分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

○あけましておめでとうございます。

コロナ禍が続く厳しい状況の中で新年を迎えることとなった。市長としての役割と責任の重さを改めて心に受け止め決意を新たにしているところである。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、全庁あげてワクチン接種に協力いただき感謝申し上げます。また、感染症対策に苦慮しながら各部の職務に従事いただいたことにも感謝申し上げます。今年は3回目のワクチン接種を実施するので、引き続き協力をお願いします。

○新年最初の部長会議ということで、管理職の皆さんに、リーダーとして、常に心掛けてほしい心構えについて、故事を2つ紹介する。

「外寛内明」と「明なれども察に及ばず、寛なれども縦しょうに至らず。」

「外寛内明」とは、

他人や部下に対しては、思いやりの心で寛大、寛容に接し、自分自身に対しては、よく省みて、明晰に己を知り、厳しく身を慎むということである。

「明なれども察に及ばず、寛なれども縦しょうに至らず。」とは、

人の上に立つ者は、部下に仕事を任せる場合、あまり細かいところまで口出しをしては受け身になってしまい、柔軟性や効率面で支障が出てしまう。だからといって、任せっきり、やりたい放題にしているのは收拾がつかなくなってしまう。日頃から部下の仕事ぶりをしっかりと見て、困っていると思えば手を差し伸べ、方向転換すべきところは方向転換を指示し、締めるべきところはしっかりと押さえておく。こういった「きじ加減」が、人の上に立つリーダーには強く求められている、という故事である。

○管理職の一人ひとりが、これらの心構えをしっかりと持ち、1日1日を積み重ねていけば、庁内全体は明るさ、やる気が増し、意欲が醸成されるのではないかと思っている。長々となったが、今年も1年よろしく願います。

2. 議題

案件なし

3. その他伝達事項

（市民部）

○市内において、年末年始期間で4名の新型コロナウイルス感染が判明した。市民の感染確認は3カ月ぶりである。年末から県内でも10名前後の感染者が連日発生しており、近々、対策本部会議が開催される予定である。市としても県の動向を踏まえ、その対策に大きな変更があった場合は、市の対策本部会議を含め対応する予定である。日頃の感染防止に加え、急な対策本部会議の開催やコロナ対応への協力をお願いします。

(政策調整部)

○令和4年度当初予算内示に対する組替要求書、復活要求書の提出は本日午後5時までとなっている。

4. 次回部長会議の予定

1月11日(火) 9時00分～ 庁議室

5. 閉会